

住民相互訪問で出た主な意見

【長岡市民側】 実施日：7月8日（水）

川口町の地域資源について

- ・ 温泉、古民家などは、長岡の情報発信力でその価値が生きてくる。
- ・ 震災体験を集客に活かす工夫を。（例：震源地に震災時の写真看板を設置するなど）
- ・ 地元の農産物を生かした食事の提供が必須。
- ・ 個別の施設の相乗効果が生まれるようなソフトの仕掛けが必要。
- ・ 地域力や住民力が感じられた。

飛び地について

- ・ 実際に行ってみると近い。
- ・ 長岡と川口の 22km という距離は、気にならない。

【川口町民側】 実施日：7月9日（木）

支所地域の現状について

- ・ 窓口業務などは、ほとんど変わらない。
- ・ 地域が衰退しないように配慮されている。合併後、地域が取り残されないためには、地域力・住民力がカギとなる。
- ・ おおかたは理解できたが、まだいろいろな不安はある。合併協議会での内容を住民に広く知らせていくことが課題。

合併後の可能性について

- ・ 長岡市の情報発信力が加わることにより、地域間の交流や観光誘客の促進など地域活性化につながる。
- ・ まつりや文化など、相互交流による地域の発展に期待。